



伊豆市

No.41

議会だより

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会広報委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2014.8.1発行



天城小学校3年生社会科見学

天城小学校3年生42人が、自らの足を使って直接見聞することを通して、伊豆市に対する理解を広げ深めるため、市役所本庁、生きいきプラザ、修善寺図書館の社会科見学をしました。

議場では、モニター操作を見たり、演台に立ってマイクの前で一言ずつ話したりしました。

目次 CONTENTS

■ 6月定例会の概要	2
■ 委員会審査	4
■ 一般質問	7
■ 第2回臨時会概要	11
■ 9月定例会の予定等	12

平成26年6月定例会

平成26年6月定例会が6月9日から25日までの会期（17日間）で開かれ、報告6件、補正予算7件、条例の一部改正4件、その他2件が上程され、審議の結果、原案のとおり可決しました。
また、請願1件、意見書3件を採択しました。



**一般会計の総額は
167億8,690万円
になりました**

平成26年度補正予算

◆一般会計補正予算（第2回）

人事異動による人件費の調整のほか、2月の大雪に伴う各種修繕及び工事、小下田ふるさとセンター駐車場整備、緊急雇用創出事業の追加、土肥地区における小中一貫校実施に向け必要となる施設改修のための設計委託などの予算を増額するもの。

◆国民健康保険特別会計補正予算（第1回）

◆介護保険特別会計補正予算（第1回）

◆簡易水道事業特別会計補正予算（第1回）

◆下水道事業特別会計補正予算（第1回）

◆農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回）

◆水道事業会計補正予算（第1回） 特別会計の補正予算は、人事異動による人件費の調整を行うもの。

条例の一部改正

◆伊豆市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 不在者投票所となる指定病院等からの外部立会人の依頼に対応できるように報酬の規定を整備するもの。

◆伊豆市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

政令の改正に伴い、市の消防団員の処遇改善のため退職報奨金の額を一律5万円引き上げるもの。

◆伊豆市税条例の一部改正

◆伊豆市国民健康保険税条例の一部改正 地方税法の改正に伴うもの。

その他

◆建設工事に関する協定の変更（土肥浄化センター）

平成25年6月11日に土肥浄化センター改築更新工事の工事委託として日本下水道事業団と1億9020万円が協定を締結しましたが、下水道事業団において工事発注前の予定価格を再精査した結果、事業費が減額となり、その後の入札により工事請負差金が発生し、全体事業費が1億4820万円となりました。よって協定を4200万円減額するもの。

◆市有財産の譲与について

伊豆市持越字平山にある市有財産を「一般社団法人持越報徳社」に無償譲渡するため、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。

報 告

◆専決処分報告（交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）2件

交通事故に係る和解及び損害賠償の額が決定したので報告するもの。

◆平成25年度伊豆市一般会計予算の継続費の繰越しの報告

◆平成25年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告

◆平成25年度伊豆市下水道事業特別会計予算の繰越明許費の報告

◆平成25年度伊豆市上水道事業会計予算の繰越しの報告

請 願

◆「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書

手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使えよう

にし、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定する意見書の採択を願うもの。

審査については、第2委員会に付託され、採決の結果、全会一致で「採択すべきもの」と決定しました。

本会議最終日、第2委員会委員長より審査の報告があり、質疑の後、採決の結果、全会一致で「採択」されました。そして、第2委員会発議にて『手話言語法』制定を求める意見書を上程し、可決されました。

【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣

意見書

◆最低賃金大幅引き上げと中小企業支援の拡充を求める意見書

（要旨）

国においては、最低賃金の趣旨をふまえ、労働者の生活の安定という本来の役割が担える額に引き上げること。欧米諸国で制度化されている全国一律最低賃金制度の

確立をすること。最低賃金引き上げのために、中小企業に対する賃金助成や税・社会保険料の減免など、国の支援予定を増額するとともに、大企業による単価の買いたたき、一方的な発注中止をやめさせ、中小企業と大企業が公正に取引できるようにルールを確立させることを求めます。2010年、政

労使の雇用戦略対話によって、最低賃金は「できる限り早期に全国最低800円を確保し、景気状況に配慮しつつ、2020年までに全国平均1000円を目指すこと」が合意されました。このことを踏まえ、次の事項の審議を求め

- (1) 国は、最低賃金法を見直し、全国一律最低賃金を確立すること。
- (2) 国は、最低賃金を時給1000円以上にすること。
- (3) 中小企業の支援策を拡充すること。

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆労働保護ルールの見直しに関する意見書（要旨）

国においては、労働者が安心して働くことができるよう、次の事項について要望する。

- (1) 不当な解雇として裁判で勝訴しても企業が金銭さえ払えば職場復帰の道が閉ざされてしまう「解雇の金銭解決制度」及び長時間労働を誘発するおそれのある「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入や、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定正社員」制度の普及などは、働く人の意向を踏まえ、慎重に対応すること。
- (2) 労働者派遣法の見直しは、低賃金や低処遇のままの派遣労働の拡大につながりかねないことから、より安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた制度を整備すること。
- (3) 雇用・労働政策に係る議論は、ILOの三者構成原則にのっとり行うこと。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣

議案

チェック

委員会の議案審査で、
次のような質疑がありました

第1委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 萬城の滝キャンプ場管理事業、六仙の里管理事業、修善寺自然公園管理事業、天城ふるさと広場管理事業、湯の国会館管理事業、その他観光施設管理事業において、改修工事費や修繕費などが計上されているが、具体的に何をするのか。

答 萬城の滝キャンプ場は、滝へ向かう遊歩道の空積みの補修を行います。また、六仙の里の管理棟及び天城ふるさと広場のクラブハウスは、2月14日の大雪で雨樋が破損したため、その修繕を行うが、公有建物災害共済の保険で対応します。修善寺自然公園については、やはり大雪の被害で危険木や折れ枝があるため、その伐採や撤去を行います。湯の国会館については、

冷蔵庫の解体と設置を予定しています。その他、だるま山レストハウスの残留塩素計、急速濾過器の補修、大雪で被害を受けた湯道の危険木撤去を行います。



▲大雪で破損した雨樋(六仙の里)

問 弁護士訴訟謝礼について、訴訟内容は、天城会館の経理問題だと思いが、話し合いで解決できないのか。

答 今回の訴訟については、相手側から提訴されているものであり、その前提になるものは市の違法な公金支出ということですので、市としては当然その正当性を争っていくものです。

第2委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 土肥中学校管理運営事業の施設改修工事設計委託料について説明を。

答 この委託料は、基本設計と実設計の両方を合わせた額です。住民の代表やPTAの方が参加して3つの委員会をつくり、皆様方の総意を得て、基本設計に反映させ、さらに実設計にも反映することを考えています。基本設計の中には、建物の危険を判断する耐力度調査費用も含まれます。その判断に基づいて、新築にするのか、改築にするのか判断します。また、児童生徒の安全対策のため、校門前にある金山橋が太鼓橋であるため、非常に見通しが悪いので、建物だけでなく周辺整備も含めて検討しています。

◆「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書

問 手話がなぜ、ろう学校では禁止されているのか、手話というのは日本ではどのくらい普及しているのか。また、どこで手話を覚えるのか。

答 アメリカから日本に口話法が伝えられ、普及するとともに文部

省が禁止したと聞いている。手話は、ろう者30万人のうち10万人ぐらいに普及しています。ろう者は、ろう学校の放課後等に先輩から教わったりして、寄宿舎では、ほとんど手話で話をして覚えていくそうです。

問 小学校管理費の施設備品購入費(遊具の購入費)について、修善寺小学校は、雲梯の購入ということだったが、他の小学校は、何を購入するのか。また、設置がこの時期になった理由について説明を。

答 熊坂小学校は、水平雲梯、修善寺東小学校は、滑り台や他の遊具が重なりあっている複合遊具、土肥小学校は、登り棒、天城小学校は、山形雲梯、中伊豆小学校は、ブランコです。

通常は、当初予算に間に合うように遊具の点検を行います。点検を実施してきた業者が倒産したため、2月・3月に別の業者に点検を依頼しました。その結果、子どもたちに危険が及ぶため「取り替えが必要だ」ということになりました。

平成 26 年第 2 回（6 月）定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	杉山誠	室野英子	森良雄	木村建一
予算関係																
平成 26 年度伊豆市一般会計補正予算（第 2 回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
条例																
伊豆市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
その他																
市有財産の譲与について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
発議																
労働者保護ルールの見直しに関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長（飯田正志）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

平成 25 年度伊豆市一般会計予算の繰越しの報告について	伊豆市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告について	伊豆市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市下水道事業特別会計予算の繰越明許費の報告について	伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市上水道事業会計予算の繰越しの報告について	建設工事委託に関する協定の変更について（土肥浄化センター）
平成 26 年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 回）	「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書
平成 26 年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第 1 回）	専決処分の報告について （交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）
平成 26 年度伊豆市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 回）	専決処分の報告について （交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）
平成 26 年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算（第 1 回）	「手話言語法」制定を求める意見書について
平成 26 年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 回）	最低賃金大幅引き上げと中小企業支援の拡充を求める意見書について
平成 26 年度伊豆市水道事業会計補正予算（第 1 回）	

討 論

平成26年度一般会計 補正予算(第2回)

反対討論

●弁護士訴訟謝礼合計194万8000円もの予算が、天城会館指

定管理料の弁護士費用に投入されようとしている。行政の正当性を保障するのに、なぜ大金をかけなければならぬのか。伊豆市は何か問題のあることをやっているのか。問題がなければ、こんな多額な弁護士費用は必要ないと思う。また、弁護士の旅費・交通費として費用弁償が計上されているが、地方自治法では費用弁償を支給されるのは自治体の非常勤職員だけであると考えられている。費用弁償を支給するのは法律違反ということになる。

公有財産管理事業の小下田ふるさとセンター駐車場整備工事は、投票に来る人や避難して来る人のために使うという説明があったが、実際に使用するの、隣接して開業をしている眼科医へのお客さん

ではないのか。市が1800万円使って駐車場をつくってやること、良いのか悪いのか。議論のあるところだと思う。

●シルバー人材センター新規開拓事業委託の身はいったい何なのか。最悪の場合、職員が山分けしてしまうことだってあり得る。

Ｉターン促進事業は、心を込めて、「伊豆市はいいところだ、住みよいところだ。」というふうにしなければ、Ｉターンもなかなか難しいんじゃないか。

技術伝承プログラム支援事業委託費は、どんな技術をどんなふう

に伝承していくのか、基本的な調査を進めていく必要があると思う。結果的に、何も技術伝承が行われなかったでは困ります。

弁護士訴訟謝礼について、天城会館は会計帳簿を見せようとしている。そんなところ、まともな経営がなされていると思うか。伊豆市の観光発展のために天城会館ががんばっているとは思えない。

というのは花形である。その会社の精鋭が集まって企画を立てる。残念ながら伊豆市は外部に委託しなければできない。

湯道(大滝地区)測量設計委託料は、これで天城湯ヶ島地区が発展するとは思えない。地元要望だと言ったたら、地元の方はどうやったら天城湯ヶ島地区が発展するか考えるべきです。

萬城の滝管理事業について、ここにはそうそうたる構成員がいるはずなのに、なぜ自分たちで補修ができないのか。箱根では、道の補修なんかはボランティアでやっている。

土肥中学校施設改修について、伊豆市の子供たちの学力アップを考えていただきたい。

小下田ふるさとセンター駐車場整備工事は、誰が見たってクリニックのための駐車場である。欺瞞ごまかに満ちた予算書である。

賛成討論

●主なものは、各部署にわたる定期異動に伴う職員給与や共済費の増減等に関するものと今年2月の雪害による、市内各所多数の施設

の雨樋等修繕費が大半を占めています。債務負担行為補正については、県支出の緊急雇用創出事業臨時特例対策事業補助金を受けてのＩターン促進事業委託、技術伝承プログラム支援事業委託などに関するもので、来年度にかけて事業の効果が期待されるものであります。これらいずれの内容も本第2回定例会において可決することが妥当な事業であると考えます。また、その他の補正内容も含め、全般にわたり条例規則等にのっとりた正当な行政手続が行われていることが確認できるものであります。

●いずれも、市民の健康を守り、安心安全な暮らしの予算、観光の振興を図り、交流人口を増やし、所得の確保、雇用の確保を図ろうとしているものと判断しています。子育て環境整備、後継者の育成に必要な不可欠な補正と判断し、賛成するものです。今後とも、戦略的視点から市民ニーズを的確につかみ、市民の目線で市民生活の隅々まで気配りの行き届いた政策的事業展開を期待します。



質問

**複式簿記導入で
財政の見える化を**

(杉山 誠議員)

公会計の整備は、自治体の財務状況と経営成績を開示し、財政危機への早期対応が可能になります。正確な財務諸表を作成するためには、複式簿記の導入が不可欠です。

将来の伊豆市のあるべき姿を考え、市民の理解を得ながら事業計画を進める上でも、数字で評価できる公会計改革は、行財政改革の重要な柱と考えますがいかがでしょうか。

**市長
回答**

**総務省改定モデル
による財務諸表作成**

伊豆市は、平成21年度から総務省改定モデルにて、財務諸表を作成しています。

総務省の公会計改革の目標である複式簿記の導入は、発生主義による複式簿記や資産台帳整備が前提ですので、データ整備を進め、地方公共団体共通のクラウド型地方会計システムが整備される予定を勘案し、総務省の目標年度である平成29年に向けて、検討を進めていきます。

質問

**中伊豆パールタウン
区内の市道の管理**

(西島 信也議員)

「パールタウン区内の市道の維持管理は、管理会社が当分の間行うが、適切な時期を考慮して伊豆市に移管する。」との協定が、昭和57年に当時の中伊豆町と管理会社間で締結されたが、30年以上そのままになっている。

当地は、現在110世帯、200人もの常住者がいるので、一刻も早く市へ管理を移管すべきと考えるが、いつまでに移管が完了するのか。

**部長
回答**

**問題の洗出しを行い
協定解除に向け協議中**

旭新きよくしん(管理会社)から平成25年8月に初めて協定の解除の申請が出されました。

解除はいつかの問いかけですが、占用関係等の問題の洗出しを行い、協定解除に向けて協議中です。

質問

修善寺にゆかりある
文学・美術品の活用を

(室野 英子議員)

気候風土が良く保養地である伊豆は、多くの文人墨客に愛され数多の作品が残るが、それら文化財の活用がなされていない。

- ① 2016年は夏目漱石没後100年、吉田絃二郎没後60年に当ること。
- ② 伊豆市所蔵の美術品の展示について。
- ③ 郷土資料館について。

長弁
市答

『伊豆文学フェスティバル』の開催誘致を

当市は、昔から多くの文人墨客が訪れるばかりでなく、その作品の舞台にもなり、こうした、記念の年にゆかりの地の文学愛好者、関係する皆様、市民の皆様の交流を積極的に深めて参りたいと考えています。

2016年の伊豆文学フェスティバルの開催については、修善寺温泉での開催誘致を計画しており、市民の多くの皆様に参画していただき、文学の郷としての伊豆市の魅力を全国に発信して参りたいと考えております。

質問

消防団の現状と課題
について

(小長谷 順一議員)

全国の消防団員は年々減少しており、現在の消防団活動をこれからも維持しているか？という点では深刻な状況です。

伊豆市も少子高齢化が急速に進み、消防団員の確保など、地域内の問題を地域で解決することが難しくなっています。

消防団応援事業の推進や消防団組織運営等の行政の係わりについて伺います。

長弁
市答消防団と地域、行政が
一体となって取組みを

消防団の強化について、1つ目として、「消防団協力事業所表示制度」伊豆市では6事業所で事業税減免による支援が、2つ目として、「ふじのくに消防団応援連盟」で4月から加盟団体が運営する観光施設を利用する際、入場料が半額に、3つ目として、団員の勧誘、組織の再編、処遇改善などの重要な課題に対し、消防団と地域、私も行政が一体となって取組むよう努めて参る考えでございます。

質問

地域支援事業に変わって
も要支援者のケア維持を

(木村 建一議員)

①「介護保険・要支援者」が「地域支援事業」に移したとき、非該当(自立者)との違いは。

②この事業では、掃除洗濯はボランティアでも良いとのことですが、ヘルパーの専門性をどう判断しますか。

③ヘルパーのサービスをボランティアに変更したとき、事業所の報酬への影響はどうですか。

長弁
市答要介護者の地域支援
事業について

①既存の訪問介護事業所による身体介護や通所介護事業所による機能訓練などの専門的なサービスは変わりません。

②要支援者の方々の支援プランについては、今まで同様に、包括支援センターがプランを作成いたします。

③利用料については、市町がサービスの内容に応じて単価設定する仕組みになっており、事業所の考え方によっては、変わってくるものと承知しております。

質問

なぜ公表できないの

(森 良雄議員)

し尿処理場の入札について。議長は質問に答えさせてください。市長は質問に答えてください。品確法第8条には答えなくてよいという文言はありません。平成17年8月の閣議には速やかに公表せよという文言はあっても、答えなくてよいという文言はありません。受注者の保護をうたう文言があれば、それを読み上げてください。

市長
市答

品確法8条による
基本的な方針

「公共工事の品質確保の促進に関する施策について基本的な方針を定めなければならない」と書いてあります。基本方針とは、「技術提案の適切な審査評価に発注者は説明責任を適切に果たすという観点から、落札者の決定に際しては、その評価の方法や内容を公表しなければならない。その際、発注者は、民間の技術提案自体が、提案者の知的財産であることに鑑み、提案内容に関する事項が他に知られることがないようにすること。」と書いてあります。

質問

中学校3校の再編計画
について

(梅原 正次議員)

第2次伊豆市学校再編計画では、修善寺中学校・中伊豆中学校・天城中学校の3校を1校に平成32年4月までに再編成する計画になっています。

- ① 学校用地の場所・面積などの用途は
- ② 建設予算の計画は
- ③ 市内関係者への周知は

市長
教答

再編準備委員会を
立ち上げ協議

学校用地は、加殿地区と日向地区の農地を候補地として選定し、説明会を開催しました。面積は3.5ヘクタール程度を予定しています。建設予算は、基本構想策定に合わせて算定していきます。今後、再編準備委員会を立ち上げ、地域・保護者・学校関係者などで協議します。市民の皆様には、ご理解を得られるよう努力します。

市長
市答

予算は、合併特例債を含め、国や県と財源について話し合って進めるべきだと思います。

質問

日曜・祝日・夜間の
保育等の子育て支援

(青木 靖議員)

伊豆市の主要産業である観光や医療・介護の分野などで働いている、また、これから働こうとされている子育て世代の方が、日曜・祝日・夜間でも、安心してお子さんを預けられる仕組みを作りませんか。同時に、子育て世代に対する相談業務や育児に関する情報提供などの取り組みを強化しませんか。

市長
市答

県と協力し、
環境整備を進める

現在、市内の保育園やこども園では、平日と土曜日の朝7時から午後6時半までの保育を実施していますが、日曜・祝日・夜間の子育てに支援できる事業は、ファミリーサポートセンターで実施しています。国際観光交流圏である伊豆半島の市町はサービス業が多く、休日・夜間の保育が必要であり、県の総合計画にのっとり具体的な施策を県と協力しながら、環境整備を進めていきたいと考えています。

質問

施政方針の進捗状況
について市長に問う

(二田 忠男議員)

子育て、高齢者支援について、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護予防・在宅介護の連携体制の整備を目的とした「在宅医療連携事業」について、内容・会議体の構成員、今後の予定について伺います。



市長
市答

第一回在宅医療連携
推進協議会を開催

子育て、高齢者支援についての在宅医療推進事業は、静岡県在宅医療連携拠点事業のモデルとして始めたところです。

第一回の在宅医療連携推進協議会を開催し、今年度の事業計画を了承していただきました。

今後は講演会や関係機関への事業説明、研修会など計画に沿って実施していく予定です。

質問

「地域づくり協議会」
事業の推進を

(小長谷 朗夫議員)

昨年の年度始めに提案された「地域づくり協議会」事業は2年目を迎えます。市内を13の小学校区に分け、より広域的な枠組みの中で「安心して住みやすいまち」づくりを目指すものです。一層の事業拡大を願います。

①協議会設置の進捗状況は ②設置を進めている2校区の現状は ③情報提供は十分なされたか ④校区分けに問題はないか。

市長
市答

市内全域への協議会
活用推進を盛り上げる

①現在2地区で協議会設置を進めており、6地区から問い合わせを受けています。

②湯ヶ島小学校区と土肥南小学校区が既に協議会設立準備会を立ち上げています。

③タウンミーティングで概要や市の考えを説明し、協議会設置から事業実施及びその効果について市民の皆さんに広く紹介し、市内全域に協議会推進を盛り上げていきたいと思っています。

④小学校区はあくまでも一提案ですので、別の区割りがあれば真摯に承っております。

伊豆市
子ども議会

伊豆市 10th Anniv.
伊豆市制施行10周年

伊豆市議会では、市制10周年を記念して、『子ども議会』を開催します。市内小学校6年生を対象とした子ども議員17名が、「10年後の伊豆市」及び「楽しい学校づくり」をテーマに、市長や教育長に質問や提案をします。

日時 平成26年8月12日(火)
午後1時40分～

場所 市役所本庁2階 議場

傍聴 傍聴席の数に限りがありますが、保護者及び関係者を優先させていただきます。

その他 子ども議会の模様は、FM1-Sの「金のみらいず」のコーナーで紹介する予定です。



平成26年
第2回臨時会

5月12日、平成26年第2回臨時会を開催し、市長から提出された議案2件について、原案のとおり可決しました。

◆平成26年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)

歳入では、財源振替として労働費県費補助金643万4000円、農林費県費補助金2億590万円、財政調整基金繰入金5426万6000円を計上するもの。

歳出では、平成26年2月の大雪により被害を受けた農業者支援の補助金として、2億6660万円の予算措置をし、歳入歳出予算の総額を167億2660万円とするもの。

◆工事請負契約の締結について(恋人岬ボードウォーク改修工事)

既存のボードウォークの老朽化にともない、改修工事を行う請負契約を締結するため、地方

平成26年第2回(5月)臨時会の賛否状況

自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡 康司	三田 忠男	小長谷朗夫	山下 尚之	山田 元康	青木 靖	大川 明芳	梅原 正次	小長谷順二	西島 信也	森島 吉文	杉山 誠	室野 英子	森 良雄	木村 建一
平成26年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
工事請負契約の締結について(恋人岬ボードウォーク改修工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×

※1 ○賛成 ×反対
※2 議長(飯田正志)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

討 論

◆平成26年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)

反対討論

●災害の補助金について、何に對して支援が受けられるのか、市民にちゃんと周知されているか。やろうとしていることが全く周知されていない。修善寺駅に観光案内所をつくってどのくらいの需要があるのか。全く無駄なお金のやりくりとしか考えられない。

◆工事請負契約の締結について(恋人岬ボードウォーク改修工事)

反対討論

●資料では県産ヒノキ材になっているが、再生木材と言っている。全部ボードウォークにしなければならぬのか。どうやってお客様が来るか、どういうものをお客さんが求めているのか、考えた施設の整備をお願いしたい。同じものをつくった

ってお客さんは来ない。もつと真剣に考えないと、お客さんはどんどん減っていく、お客さんが求めるものを我々は提供すべきである。ただのんびんだらりと業者のための施工工事では伊豆市の発展は望めない。

賛成討論

●恋人岬は、昭和57年に廻り岬富士見遊歩道整備として完成してから平成9年のボードウォークが整備されるまで、一世を風靡した経緯があります。恋人岬管理運営者の土肥温泉旅館協同組合は、小下田地区みのり会の力をかりて、野菜販売など地域住民との協力的体制の輪も広がっており、遊歩道リニューアルを機に宣伝活動に力を入れ、当時の賑わいが創出できるよう努めていくとのこと。西伊豆観光の重要な施設、そして無料立ち寄りで観光バス等も多く、恋人岬を訪れる観光客の安全を確保し、地域活性化のために原点到り返り、地域ぐるみで恋人岬を大切に育てていくことを望み賛成する。

*** 議会だより ***

伊豆市議会では、市民の皆様にもっと議会を知っていただき、市の行政にもっと関心をもっていただくため、月に1回の声の広報として、FM ISを通じて議会の情報提供を始めました。



4月

放送日 平成26年4月21日

出演者 飯田議長・青木議員

内容 3月定例会の概要
行財政改革特別委員会の設置について



▲飯田議長（左）青木議員（右）

5月

放送日 平成26年5月27日

出演者 木村議員・森議員

内容 「議会って 議員って 堅い」などというイメージを変えてもらうため、議員の人物などの自己紹介

6月

放送日 平成26年6月6日

出演者 室野議員・三田議員

内容 室野議員の自己紹介
6月定例会のおしらせ



▲三田議員

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができま。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9900)

9月定例会の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分～

9月2日（火）行政報告

議案上程

5日（金）一般質問

8日（月）一般質問

10日（水）議案質疑

26日（金）委員長報告

質疑・討論・採決

※日程については変更となる場合がありますので、ご了承ください。

編集後記

伊豆市が誕生して十周年を迎えました。今後の伊豆市はどうあるべきか「伊豆市未来づくりセッション」で議論されています。

帰省した友人の「あゝ空気がおいしい、磯の香りがする」の言葉に自然に恵まれてつい忘れかけているものを再発見した気持ちです。

「ふるさととは、遠くにおいて思うもの」この地域も若者の流失と高齢化により、回りを見回しても空き家や駐車場化していく現状で過疎化はどんどん進んでいきます。

そんな中、今の子供たちに自然と人の温かさに恵まれたふるさとの良さを守り育て、次の世代に引き継ぎたいと思います。

広報委員 永岡 康司